# ブロックチェーン革命と未来のお金

~新しいマネーシステムが生み出す次なる日本~

2019年12月13日
JWAT WAVE設立記念セミナー
松田政策研究所代表
未来社会プロデューサー…他
元衆議院議員
前東京大学大学院客員教授

松田学

(まつだ まなぶ)



### 松田学 松田政策研究所代表 元衆議院議員 未来社会プロデューサー

• 1981年東京大学経済学部卒、同年大蔵省入省、2012年衆議院議員、2015年東京大学大学院客員教授。

【現職】松田政策研究所代表として、経済、財政金融、通貨、外交・安全保障、国際情勢、医療などの社会保障、 危機管理、防災、ITや暗号通貨などを軸に、未来の社会システムの構想、政策提案、発信活動などを展開。

東京大学でのサイバーセキュリティに関する政策提言活動を活かし、情報セキュリティやブロックチェーンの社会実装の旗振り役として各種事業や啓発活動に従事。最先端の情報技術の活用による防災・減災革命や未来の「協働型コモンズ社会」実現に向けた「ジパングプロジェクト」にその主唱者として携わる。また、未来の素材革命に向けてバサルトファイバーの普及事業を推進。バサルト株式会社代表取締役社長、(社)キャッシュレスサービス振興協会代表理事、(社)ドローンシティ協会理事長、横浜市立大学客員教授、(社)日本ドローン協議会理事、大樹総研特別研究員、言論NPO監事、国家基本問題研究所客員研究員、政策科学学会副会長、(社)日本ライフメンター協会顧問、その他、多数の役職に従事。

【国会議員としての経歴】2012年衆議院議員に当選、日本維新の会・国会議員団副幹事長、次世代の党・政調会長代理、衆議院閣委員会理事、財務金融委員、国土交通委員等歴任。

【職歴】大蔵省に入省(大臣官房)後、西ドイツ・ボン大学研究所留学。霞が関では、大蔵本省、内閣官房、経済企画庁、国土交通省などで、マクロ経済政策、対外経済摩擦、税制改革、財政投融資、国際金融、証券取引等監視委員会設立、地方財政、金融危機対応、金融行政機構改革、国際的政策調整、個人情報保護法立案、税関行政など幅広く経験。地方勤務では、洲本税務署長、大阪国税局査察部長、成田税関支署長、横浜税関総務部長を歴任。その後、内閣官房内閣審議官、財務省本省課長などを経て、東京医科歯科大学教授(兼学長特別補佐)、(独)郵便貯金・簡易生命保険管理機構理事、預金保険機構金融再生部長など。2010年国政進出のため財務省を退官。

【主な著書】「競争も平等も超えて」(財経詳報社、08年)、「永久国債の研究」(共著、光文社、09年)、「TPP興国論」(kkロングセラーズ、12年)、「二ッポン興国論」(kkロングセラーズ、12年)、「国力倍増論」(創芸社、14年)、「サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う」(創芸社、18年)、「米中知られざる『仮想通貨』戦争の内幕」(共著、宝島社、19年)、「いま知っておきたい『みらいのお金』の話」(アスコム、19年)等多数。

- 【ホームページ】<u>http://matsuda-manabu.jp/</u>【ブログ】<u>http://ameblo.jp/matsuda-manabu/</u>【E-mail】(松田政策研究所)<u>matsuda@yd-con.com</u>
- 【松田政策研究所ホームページ】<u>https://matsuda-pi.com/index.html</u>【動画チャンネル】<u>https://www.youtube.com/channel/UCAN0E9cZN7n22Ka1-TuVb-Q</u>
- 【登録はこちらから】<u>https://matsuda-pi.com/member/form.html</u>

### リアリズムと実践で…未来社会をプロデュースする~松田学の活動~

未来社会の 基盤づくり

みらいのおかね

国の借金をお金に変える「松田プラン」。負の遺産を抜本処理して新財源+通貨基盤として の暗号通貨の国家戦略化

←元財務官僚、金融資産の活用でお金を回し、財政運営の「見える化」で国民の納得 一人一人の生きがい追求をみんなが支える自由で伸びやかな新たな社会

いのちを守る仕組み

次なる政治のテーマは危機管理…国防 防災・減災革命 サイバー 経済 生活防衛… 社会の課題解決で新たなる日本の成長分野→専門的知見で具体的な答を出す

- サイバーセキュリティ…東京大学で政策提言→社会実装事業のプロジェクトリーダー、
- ブロックチェーン革命…各分野で世界を先導するブラットフォームづくりの旗振り役 透明で公正で健全な仕組みの実践(キャッシュレスサービス振興協会代表理事など)
- 防災「黄金の国シバングプロジェクト」主唱者···Al、loT、ドローン→IT 分野に新領域→国土全 VR 化

日本の新たな ストーリー ~誰もが挑戦者に~

夢を持てる強靭な国づくり 「改革」から「組み立て」へ: 国家戦略形成の方法論と国家像

国土強靭化…バサルトファイバー事業で素材革命 バサルト株式会社(社長) ⇒びくともしないインフラ、まちづくり、住宅、その他環境調和、耐放射性

社会システム再設計…日本の全体システムの組み替え⇒持続可能な独立自尊の新しい国づくり

※活力ある超高齢社会の運営モデル:課題先進国

「一人二役三役時代」、「年齢不詳社会」、官と民が支える「公」

医療・介護地域トータルシステム創出事業・・・地域再生・地方創生

世界の課題に答を出す ソリューションセンター ニッポン

「日本新秩序」⇒「世界新秩序」

「三種の神器」(不老長寿の国、豊葦原瑞穂の国、日出国)

新しいタイプの日本のリーダーシップ(アジェンダシェイビング、モデルビルディング、コラボレーション)

- ⇒具体的な事業で示す日本の未来像+緻密な政策体系+ネットワーク+参加
- ⇒未来実現型のリアルな政治へ、日本の政界に新たな軸を構築

経済成長革命で日本の病を根本治療!

啓 発



リアルな政策論

※政官学民で培った 経験とネットワーク



事業活動

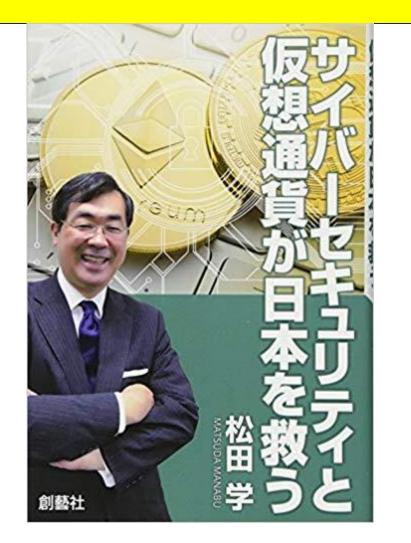
※パサルト、防災、 ブロックチェーン、 サイバー等



※メディア出演・執筆

※インターネット・動面チャンネル松田政策研究所 (登録者数、視聴数急増中)

☆松田学(著)「サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う」(創藝社)18年8月 ☆共著「米中知られざる『仮想通貨』戦争の内幕(宝島社)19年1月25日発刊 ☆松田学(著)「いま知っておきたい『みらいお金』の話」(アスコム)19年2月23日





松田学 10年後、 ●「いいね!」の数が お金が ドンドン 集まる 人になる

わかる

ために

### 松田学3つの近著・・・コンテンツ

#### サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う

#### 【本の構成】

はじめに

第1章 人類に訪れる「第四の波」

第2章 海外で見た情報化社会、海外で聞いたサイバーセキュリティ

第3章 どうなっているのか、日本のサイバーセキュリティ

第4章 サイバーセキュリティ完成への道筋

第5章 新たなセキュリティシステムへのチャレンジ~ジュピタープロジェクト~

第6章 仮想通貨の行方~真の通貨への模索~

第7章 ネクストソサイエティと新たな通貨の論理

第8章 日本の財政はこうして救われる「松田プラン」

おわりに~未来社会に向けて「日本新秩序」を~

### ☆基礎編・・・情報セキュリティと仮想通貨 →情報技術が拓く未来社会の展望と 政府暗号通貨「松田プラン」

米中知られざる『仮想通貨』戦争の内幕

第1章 ドイツ銀行がトリガーか リスクにさらされる世界経済 第2章 突出する中国と世界の 暗号資産最前線 第3章 日本の暗号通貨と サイバーセキュリティ 第4章 暗号通貨が作る 「協働型コモンズ」社会 第5章 鼎談 最新暗号通貨が 日本を救う

☆応用編・・・現実に世界で何が 起こっているのか。

ブロックチェーン革命の推進と、

- ①政府暗号通貨、
- ②「東京クリプト金融特区」、
- ③クリプトキャッシュ、
- ・・・3つの融合スキームで政策提言

#### いま知っておきたい『みらいお金』の話

1時間目「みらいのお金」は自由へのパスポート

2時間目 仮想通貨ってそもそも何?

3時間目 日本は「キャッシュレス

後進国」で「仮想通貨天国」?

4時間目「みらいのお金」も「昔のお金」

も約束と信用でできている

5時間目「みらいのお金」で誰でも

作れる「小さな経済」

6時間目 仮想通貨を使ってみよう

7時間目 お金はマルチメディア化する

おわりに

#### ☆普及•啓発編

・・・未来社会プロデューサーの松田学が 広くプロモーション活動を展開

### スマートコントラクトとトークンエコノミー

改ざん不可能、真正性の証明不要…等々 1情報管理 ブロックチェーン 本質 スマートコントラクト ②手続き …ブロックチェーンを支える新たなコア技術 ⇒技術革新の中核 3つの機能を 1つの仕組みで 実現するもの ③価値の移転 暗号通貨…トークン…システムのユーザー 社会実装上、 データと特定のロジックが結合することで、そのロジックに従ったデータ処理 最大のメリット ⇒データが主役:データに応じてシステムが動く姿

- (1)情報管理及び情報の安全性と信頼性
- (2) ユーザ(国民など)の利便性
- (3)効率性(コストの大幅削減)

- ▶ 従来、実現が現実的に不可能or高い難易度だったことが実現
- ユーザ側はトークン(暗号通貨)で利用⇒一連の手続きと価値移転(納税や手数料の支払も)がワンストップ
  - 経済活動でも政府や行政との関係でも「トークンエコノミー」が進展

### 自治体発行地域通貨及び地域ユーティリティトークン

自治体による行政サービスをブロックチェーンとスマートコントラクトで実装

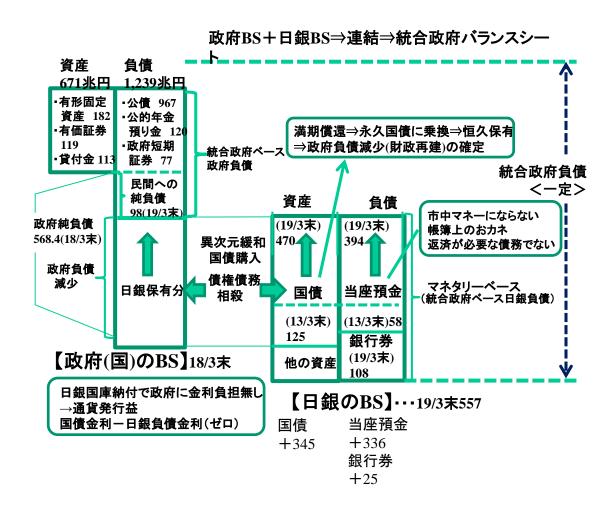
⇒ これを利用するためにトークンを支払うことで効率的な行政サービスの提供と利用
(ユーティリティトークン … 特定のサービスにアクセスすることに使えるトークン)

### 【通常業務】

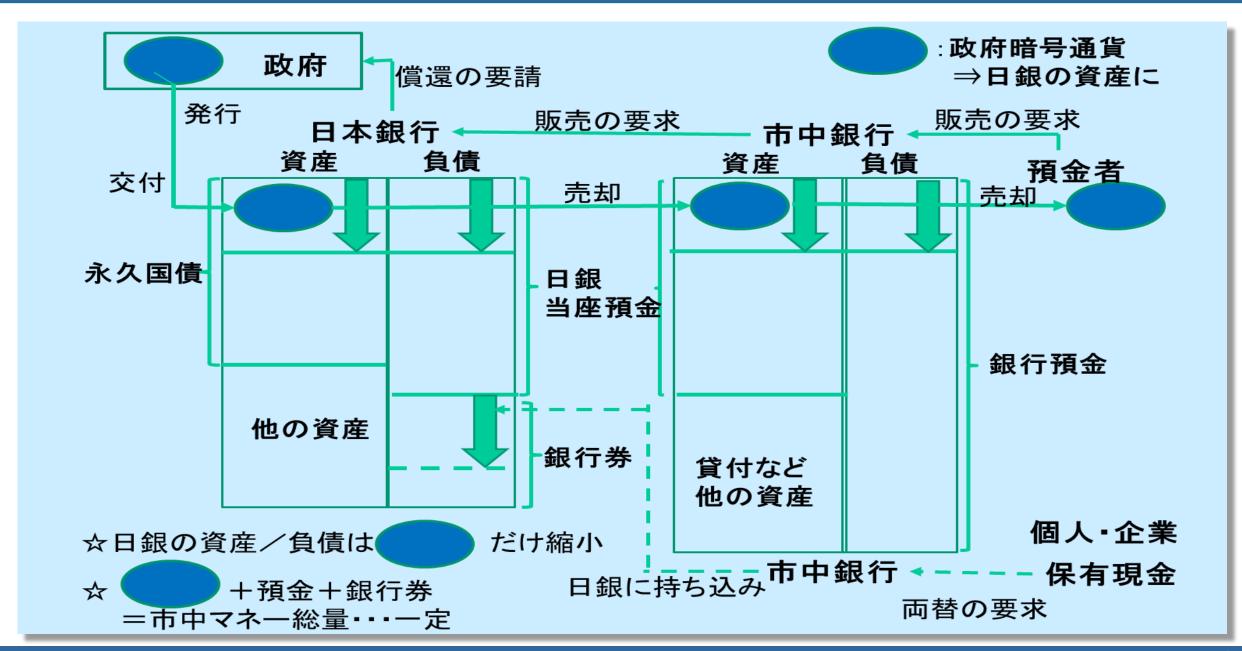
- 文書管理 … 公文書管理、不動産登記、医療・介護データ管理など
- 出生や生存証明、身分証明、マイナンバーなどの個人情報管理
- 電子投票などの実現

### 【地域活性化】

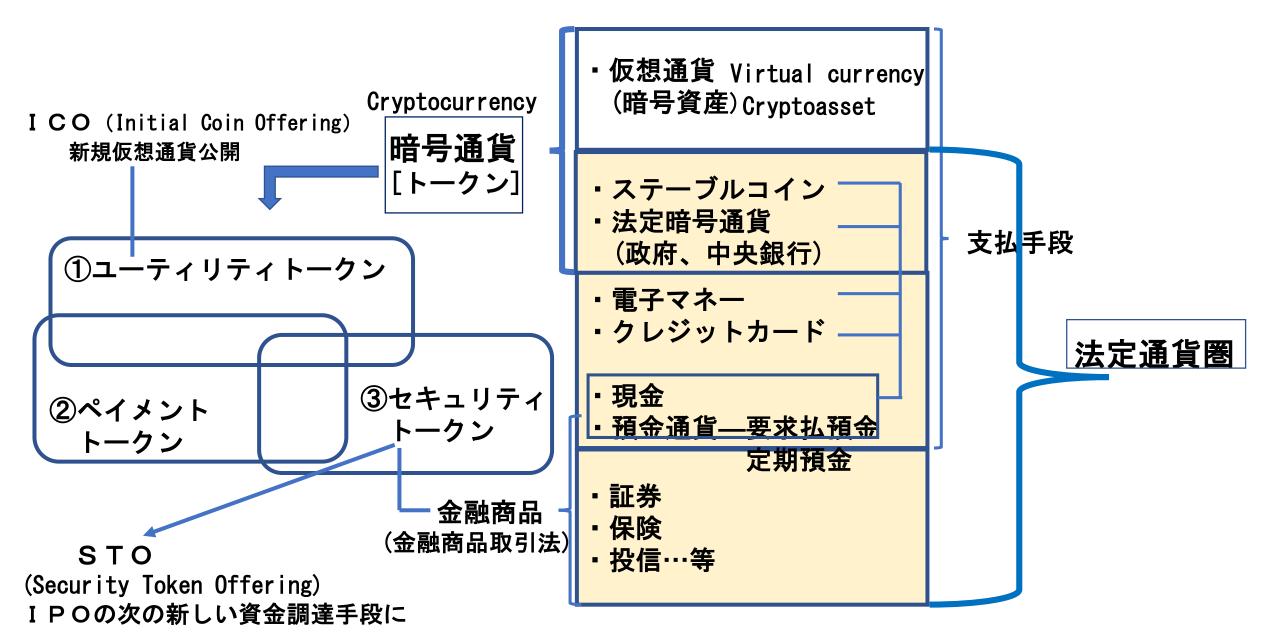
- 道の駅、名所旧跡、観光スポット、お食事処、宿泊施設などの施設
- 特産品などの認証制度や流通販売
- 税金支払い、ふるさと納税(寄付)、その他の各種サービスやイベントなどで使える 通貨(コインもしくはトークン)を発行
- 地域活性プロジェクトとして I C O (Initial Coin Offering) で資金調達



### 松田プラン・・・・永久国債オペの出口は政府暗号通貨による償還



### 通貨の分類 法定通貨と暗号通貨



### G7 7か国財務大臣・中央銀行総裁会議2019年7月 於:フランス・シャンティイ 議長総括-抄-

### ・ステーブルコイン及びその他の様々な金融商品

大臣・総裁は、金融セクターにおける技術革新は大きな便益をもたらしうるが、それらはまたリスクも伴うものであることを認識した。<u>リブラのようにグローバルで潜在的にシステミックな足跡を伴う取組を含め、ステーブルコイン及びその他の現在開発されている様々な金融商品は、深刻な規制上ないしシステミックな懸念とともに、幅広い政策上の課題を引き起こす</u>ことに合意した。これらの懸念や課題はいずれも、こうした<u>取組が実施さ</u>れる前に対処される必要がある。

規制上の懸念に関し、今後実現する可能性のあるステーブルコインのイニシアティブ及びその運用者が、金融システムの安定や消費者保護を脅かすことのないよう、いかなる場合においても、特にマネーロンダリング及びテロ資金供与対策をはじめとする最高水準の金融規制を満たす必要がある。ことに合意した。規制上生じうるギャップについても、対処される必要がある。

システミックな懸念に関し、<u>リブラのような取組が通貨主権や国際通貨システムの機能</u>にも影響しうることに合意した。

<u>こうした取組が、国境を超える決済システムが顕著に改善され、消費者にとってより</u> <u>安価になる必要があることを示している</u>ことでも合意した。

### 日本のポジション

自由競争(米国)

**VS** 

国家主導(中国)

### **GAFA**

Google(グーグル)

Apple(アップル)

Facebook (フェイスブック)

Amazon(アマゾン)

### **FAANG**

Netflix(ネットフリックス)

### **BATIS**

「AI発展計画」で 習政権が指名した5大プラットフォーマー

→世界標準へ

→世界標準へ

B:百度(Baidu 自動運転)

A:アリババ(Alibaba スマートシティ)

T: テンセント(Tencent ヘルスケア)

I:アイフライテック(iFlytec) 音声認識

S: センスタイム(Sense Time) 顔認識



#### さまざまな社会システム

各社会システム毎に、 それぞれに応じたイノベーション

スマートコントラクト

&トークンエコノ

パブリックなプラットフォーム

•医療•介護

•登記

∙物流

→世界標準へ

・エネルギー供給→世界標準へ

·地方自治

-金融

••••etc

日本新秩序



世界新秩序

現場力、工学力、産業蓄積・・・

課題解決←社会実装の推進

ブロックチェーン革命

## みらいのお金と協働型コモンズ

ペイメントトークン

法定暗号通貨 (デジタル人民元) リブラ(GAFA)

社会的共通価値 …エネルギー本位制 →信用創造、バンク 協働型コモンズ みらいのお金

競争型資本主義社会 いまのお金 信用創造 儲け無き所に お金無し

市場経済では実現しない 多様な価値 各人の価値をみんなが支える 「いいね」で生まれる ユーティリティトークン 人々が認める価値をバックに発行

家庭内通貨、社内通貨、団体コイン介護(労働債権の価値化)防災ボランティアコイン看取りコイン、気持ちコイン各種社会システムコイン(電力、エネルギー、物流…)あらゆる資産のトークン化時間の価値化コイン

究極的には各人がお金を発行… (AIによる「気持ち」の価値化)

### V. 最先端ITアカデミア構想

- 1 最先端 I Tアカデミア構想
  - 2020年4月開校を目標に最先端 I T技術を学べるアカデミアを創設する構想

#### 2 基本理念

現在、どの分野でも「IT力」の強化が不可欠な時代になっています。しかし、情報技術の分野で日本は米中に大 きな後れをとり、この分野にフロンティアを拓くチャレンジを促進することが、日本経済全体にとっても不可欠の課題 となっています。その上で、人間や経済社会に新たな活動領域を創造するための意識改革や人財育成が急務と なっていると考えられます。例えば、近年、脚光を浴びるようになったブロックチェーンについては、これまでインター ネット革命が30年をかけて世界を変えてきたように、これからは「ブロックチェーン革命」の時代が始まると言われて います。しかし、この技術はそれ自体、未だ黎明期にあり、その社会実装が唱えられながらも、現状の技術のまま ではなかなか進展しない状況にあるのではないでしょうか。様々な未知の可能性を秘めるこの技術が真に経済社 会にメリットをもたらし、人々に幸せをもたらすためには、目先の利潤追求よりも、いまの社会や人間が直面する課 題に向き合い、その解決に本技術の特性に基づいた発想で多くの人々がイノベーションに取り組む必要があります。 このことを通じて、新たな社会の什組みやビジネスチャンスが拓かれ、それぞれの分野ごとにブロックチェーン技術の イノベーションが起こる性格の技術だと捉えれば、ブロックチェーンそのものが、これから大きく変容していくものと予想 されます。ここに、日本が各分野で世界標準をとっていくチャンスがあるのではないでしょうか。 本アカデミアは、ブロックチェーンに限らず、広くITに関する分野について、日本でこの分野を代表する先駆者であ る講師やビジネス関係者の方々とともに、ひとり一人が、こうした課題解決や自らの生き甲斐追求にチャレンジする ために必要な知見や技術的な組み立てを広く共有する場を創ることで、これをそれぞれの具体的なビジネス展開 につなげていく活動を展開するプラットフォームとなることをめざして設立するものです。

Copyright© 2019 ジパングプロジェクト (株) 14